

パッション

文化情報誌

第46号

2011

誌名の『パッション』は燃えるような“情熱”の意味です。

〔特集〕「文化息づく学校」

輝く人 ～人との出逢いで詩が生まれる～やまぎり萌さん

第61回市民芸術文化祭たけなわ

平成23年度四日市市文化功労者、奨励賞受賞者



N.I

紅葉で色づく鈴鹿山脈から、優しい風が届く。

元気な四日市が好き!!



四日市市文化協会

目次

「文化の力で四日市を元気にする」	佐野 豊 . . . 1
特集 「文化 息づく学校」	
① 「心を合わせひたむきに奏でよう」 港中学校吹奏楽部	徳山 寿華 . . . 2
② 「心をこめて歌いたい」 メリノール女子学院聖歌隊	佐藤 周子 . . . 3
③ 「高校演劇部活動30余年」 四日市南高校演劇部	菅 理 . . . 4
第2回 よっかいち歴史浪漫探訪	北野 保 . . . 5
市民壇という近代化遺産	
賛助会員リレーエッセイ ～感情の表現が文化～	毛利 彰男 . . . 6
フラッシュ ひまわり賞に輝いて 女声合唱団「京」	中西 信子 . . . 7
パッション広場 [俳句] 選評：伊藤 政美	. . . 8
Sparkling Personality ～人との出逢いで詩が生まれる～	
輝くひと やまぎり萌さん	加藤けいこ . . . 10
訪問レポート① 押し花 加藤 よし子さん	清水 暁美 . . . 12
訪問レポート② 奇術 川田 勝 さん	石井 亨 . . . 13
第61回市民芸術文化祭たけなわ	石井 亨 . . . 14
平成23年度四日市市文化功労者、四日市市民文化奨励賞受賞者	. . . 16
編集室 (眞)	

表紙絵：N・I 写真：加藤 武ほか

四日市市文化協会に関するお問い合わせや、入会のお申し込みは、下記へご連絡ください。

郵便番号510-0057 四日市市昌栄町21-10 TEL・FAX059-351-3729

ホームページ <http://www.yokkaichishibunkakyokai.com>

Eメール ybk-jimu@m2.cty-net.ne.jp

開局時間 火曜日から金曜日までの午後1時～5時(祝祭日は除く)

FAX 059-352-6688

文化の力で四日市を元気にする

四日市市 市民文化部長

佐野 豊



一年を振り返るには少し早いようですが、今年「天変地異」に見舞われた大変な年でした。東日本大震災や風水害で被災された方々には、改めてお見舞いを申し上げます。私たちは、こうした大災害を契機に、家族や地域の「絆」の大切さを再認識し、かけがえのない「日本の文化」としての人のつながりを再発見したのではないかと思います。

衣食住など家庭から生まれる文化、祭りや伝統行事として地域を支える文化、お笑いや歌など社会を彩る文化、文化は私たちの生活そのものとして、「絆」を強くする大きな力を持っています。自然災害ばかりではなく、円高や経済的な打撃により、思わず萎えてしまいいそうな私たちの心を奮立たせ、あるいは豊かにし、頑張る力を与えてくれるのも「文化」ではないでしょうか。

私たちのまち四日市は産業都市です。当然、産業文

化、いわゆる物づくりも文化そのものであり、私たちの生活を支える大きな力があります。しかし、経済の力だけでは、私たちの心は癒されないう。元気にもならないでしょう。文化の力は漢方薬のように、人々の心に効いてくるのではないのでしょうか。

四日市には、文化振興条例に基づきビジョン、(財)まちづくり振興事業団、それに文化協会があります。そして多くの「文化人」がいます。音楽家であったり、作家であったり、プロであったり、アマチュアであ

ったり。そして、多くの市民が文化を担っています。楽しんでいきます。そうした市民のエネルギーが、まちを元気にしてくれています。また、自分の文化を大切にしている人は、人の文化を理解し尊重できるのでしよう。よく言われる「多文化共生」とは、必ずしも外国籍住民との共生を言うだけではなく、私たちみんなが、お互いを尊重し合うことにつながっています。「和」の心は、私たちが昔から持っている日本の文化の根本ではないでしょうか。

市民の「幸せ」をサポートするのが市役所の仕事とと思っています。みなさんと一緒に、文化の力で四日市を元気に、笑顔いっぱい、まちにしたいと思います。



心を合わせ ひたむきに奏しよう

港中学校吹奏楽部

顧問 徳山 寿華

港中学校吹奏楽部のモットーは「心を合わせひたむきに奏しよう」です。私たちの活動は入学式や卒業式、また文化祭や体育大会など学校行事での演奏を始め、いくつものコンクールなどを抱えていてシーズンオフはありません。この秋には浜田小学校、浜田地区敬老祝賀会、「まちなか文化祭」で演奏する機会をいただきました。

そういった忙しい毎日の練習の中で、生徒たちと確認しあうことが二つあります。ひとつは「感謝の気持ちを忘れない」ということです。家族、友人、先輩。たくさんの方の協力があるからこそ、音楽に打ち込むことができます。自分たちが活動できる環境を作ってくれている方々への感謝の気持ちを込めて、演奏するようにしています。自分たちが使っている各教室やトイレの清掃を怠らなくすることにも心がけています。

もうひとつは「ほんとうにそう思っているか」ということです。自分たちで考えて、自分たちがやりたい音楽を自



分たちで作り上げていく過程の中で、常に生徒とともに考えます。「ほんとうにその音色でいいのか?」「ほんとう

に一生懸命やれているのか?」自分たちの演奏や、自分の行動を省みる時間を作るようにしています。

そのような日々の成果が実り、今年度は朝日吹奏楽コンクール東海大会で金賞、中日吹奏楽コンクール本大会では準優勝グループに入ることができました。日々の練習にくじけず、ひたむきに楽器に向き合う生徒たちの姿はいつも輝いています。演奏を終えた彼らの笑顔に、私はいつも感謝の気持ちでいっぱいです。

～ご案内～

○四日市音楽祭パートⅡ「四日市交響楽団の motto と気軽にオーケストラ」がCTY地上デジタル12CHの特別番組で11月16日～30日の毎午後1～2時20分に全曲、放映されます。
○四日市市文化協会「2012新春の集い」は、地元文化人をご招待し1月22日(日)午後4時から四日市都ホテル「伊勢の間」で催します。各団体代表者・会員のみなさんのご出席をお待ちしています(会費六〇〇〇円)。

メリノール女子学院聖歌隊

高校1年 川邊 愛莉沙



練習風景

私たちは、週3回音楽室で中、高合同で練習しています。学年関係なくとも仲の良い部活です。普段の練習内容は発声練習の後にパート練習をし、最後に全員で合わせています。長期休暇中は、発声練習に加え

トレッチ等、普段はできないことをしています。そんな私たちは主に校内での宗教行事で聖歌を歌ったり、福祉施設、保育園、学童等の訪問をし、お年寄りの方や、子供たちとふれ合っています。そして、毎年12月には近鉄四日市店でクリスマスコンサートを行っています。これは私たちにとって年に一度の大切なイベントで十数曲歌い、道行く人達にクリスマス気分を感じてもらっています。

今年、東日本大震災で被災された地域の方々にビデオレターを送ったり、近鉄四日市店で募金活動を兼ねたチャリティーコンサートを行いました。募金には、たくさんの方々が協力してくださり、歌で支援できたことをとても嬉しく思いました。今後も、被災地のための活動を積極的に行っていきたいです。



チャリティーコンサート

いです。募金活動やビデオレター、あるいは 現地を訪問して生の歌を聴いていただき、一緒に話をしたりして少しでも元気になってもらえよう活動ができれば、と考えています。また、今後は、もっと色々な場所で私たちの歌を聴いていただきたいと思っています。その時には私たちが伝えようとしている、ひとりひとりがかけがえのない存在である、ということを感じて、前向きな気持ちになっていただきたいと思います。そのために、これからも日々の練習を頑張っていきます。

生徒達と日々練習する中で、皆、心をひとつにして心をこめて歌おう」と話しています。歌うことで聴いてくださる方々に私たちの思いが伝わればそれが一番嬉しいことです。音楽は演奏する側ばかりでなく、聴く側も心を豊かにします。私たちと共に、音楽を楽しみませんか！

聖歌隊指導

佐藤 周子

●東日本大震災チャリティーコンサート

日時 11月20日(日)

14時

会場 諏訪公園通り

(キタオカ前)

●クリスマスコンサート

日時 12月23日(祝・金)

時間未定

会場 近鉄百貨店前

シャンテリア広場

高校演劇部活動30余年

四日市南高等学校演劇部顧問 菅 理

■ふだんの活動

演劇部といっても筋トレをやっています。役者、音響、舞台装置、衣装、メイクなどと部員の役割は分かれています。しかし体力はすべてのベースなので全員が体力向上に努めています。

大会や発表会での上演にむけ、準備をはやくから始めます。強い演劇部ほど年間の上演数が多い（場数を多く踏む）です。

上演準備は①脚本きめ、②脚本分析、③役者のオーディション、④音響、舞台装置、衣装、メイクの検討など。これらはすべて全員の徹底した協議で決めていきます。

合意して決定すると、それぞれの役職で仕事を進めながら問題が生じるとまた協議、協議です。部内で対立したり、妥協したり。ナイーブな部分を調整しながら一つの芝居を作り上げます。ものすごく時間がかかりますが、その過程が大切です。

■四南演劇部の歴史と現状

四日市南高校演劇部は八〇年代から部の隆盛期・黄金期に入りました。専門的な力量のある顧問が次々に着任しました。その間、三重県で何度も優勝し、中部大会でも好成績を収めてきました。



四南演劇部一、二年全員集合

OB・OGが多く、大学生を中心に熱心に指導に来てくれます。部室や練習場、作業場もあり、恵まれた環境にあります。

しかし、最近五年ほどは指導できる顧問が不在となり、生徒自身の力で部を運営しています。かなりのレベルの劇を生徒自身で演じることができず、大会で勝つにはいまひとつ専門的

指導が必要です。

活動はつらく忙しいときもあるが部活は楽しいと部員は言います。教室では言えないことが部内では言え、できないことができるということがあるからだと思います。しかし、あれだけ練習したのに勝てないのは顧問としてはつらいところ。結果が出てほしいと思うのは：

四日市南高校演劇部の顧問になって今年で九年です。顧問になったとき、私は演劇について少しも知りませんでした。九年目の今も専門的に見てすぐれた演劇とはどういうものかよくわかりません。

しかし高校生の演劇を見て、感動で泣けることがあります。何に感動するかは人によって異なると思いますが、感動的な演劇を見たときは、いいものを見た、いい経験をさせてもらったと思います。

専門的な指導ができず、部員に申しわけなく思っています。私は南高校演劇部が演じる劇にはいつも感動させられます。専門的指導ができる顧問の先生に南高校に赴任してもらいたいと切に願っています。自分の学校の生徒の芝居にいつも感動する幸せを感じています（でも専門家が見ると足りないらしい）。

市民壇という近代化遺産

日本考古学会会員 北野 保

市域の南西部、四郷地区の西日野町・東日野町と日永地区の日永・泊村にまたがる南部丘陵公園は、四季折々の散策や観察が楽しめるように、自然を生かした総合公園として多くの市民に親しまれている。

この南部丘陵公園の北東寄りの一角に、昭和九年三月に造られた写真のような「市民壇」と称する珍しい屋外ステージがみられる。

本来の設置場所は、前号に記した五箇条の御誓文を刻む「誓上御柱」という石碑とともに、諏訪公園の国登録有形文化財である旧四日市市立図書館（現在のすわ公園交流館）の西側に所在し、公園整備工事に伴い解体撤去の声も聞かれたが、平成五年に関係者の英断によって現在

地に移築保存された。

市民壇は、幅約十四メートル・奥行約六・五メートルの大きさで、西向きの正面上部には「市民壇」の文字と四日市市の「市章」を配し、散策路に面した裏側には左記の文字が刻まれている。

誓上御柱 壹基
市民壇 壹基
為三恩報謝謹建之
昭和九年三月吉日

當市 村山清八
設計 福間榮悦
監督 西川松□助
施 監 督 三重機械鉄工
工 業 合資会社
者 石 幸 杉江幸吉
北勢組 大須賀多吉
左 官 杉村僊松
庭 勝 佐藤勝一

また、裏側の壁面全体には、日展会友・光風会会員の小林藤四郎氏の「四日市祭三相」と題した絵が画かれ、下部にはその説明と市民壇設置当初からの「村山清八建之 昭和九年三月吉日」の文字が目につく。

毎日新聞の平成八年八月二十五日付け（朝刊）

三重版の「無言の証人 三重の戦争遺跡 ⑨」で、この市民壇が「憩いの場に軍国主義の名残」の見出しのもとに、四日市の戦争遺跡として掲

載された。

寄付した村山清八氏の想いはともかく、戦時中に造られたが故に戦意高揚の場所として利用されたが、戦後の復興期には映画の上映や子どもたちの写生のモデル、遊び場として日常生活の一時に潤いを与えた。

題名	三相祭市四日
原画	藤四郎 小林 友会 光風会
製作	平幸 宝清 石崎
竣工	三月二年平成



感情の表現が文化

四日市市議会 議長

毛利 彰 男



生をかけた大仕事をなされていると自覚されているお方から、一切、文化とは無縁と感じ

皆さんこんにちは。文化の概念さえはつきりと理解できていない私ですが、文化についてちょっぴり思い巡らせてみました。いろいろな文化活動が当市で見られますが、私は、文化の直接の担い手さんより、文化を裏方で支えられていらつしやるボランティアさんや、協力者の方々のお姿にいつも感謝と感動を覚えています。文化事業、文化活動、文化の舞台など、その作品の公開・講演・展示等には実に多くのエネルギーと財源のいる事を理解しているつもりです。文化への取り組み方は、自称文化の担い手さんとして人

ながら、文化活動らしきものにコツコツと取り組んでおられる方まで、千差万別であろうと思います。芸術の道探求の苦しみに耐える人、生涯の自分の楽しみとして取り組む人、素人からプロまで、ありとあらゆるスタイルのお方が見えます。その動機も、見（聞か）せる為、見（聞い）て頂く為、自らの感動を覚える為、人に感動をして頂く為、更に、健康の為、自分を見つめる為、自分を鍛える為、自分を変える為、そんな事どうでもいいよという人もいます。実に多種多様である。ここまで原稿を書いてきて、突然閃きが脳幹を貫いた。「心の感情が形に表現されることが文化である」との、考えに行き着く。従って、心に無いものは表現できないし、心の無い作品は感動をもたらさないとはいわゆるそんな事を申し上げて、筆を置かせて頂きます。（当協会の賛助会員のみなさんに、アイウエオ順に執筆をお願いしています）

【短信】

志水雅明

八月十三日、先の編著『堀木素秋句集』『黒川裕規が語る ハーモニカ人生を歩みきて』につづいて、今年度三冊目の『写真アルバム 四日市の昭和』（樹林舎）を上梓しました。

初版限定二千部に対して、八月末現在の子約販売が約千六百部という前評判のもとに公刊された同書を志水が監修し、各章の前文、フォトコラムの前文等をも執筆しました。

巻頭には、かつて志水が台本構成を担当したビデオ「四日市まつり歳時記」から、現在では貴重と思われる画像を紹介しました。

なお、各章に新設のフォトコラムは、「文豪に愛された湯の山」「文学者の見た四日市」など、主に文学の観点からまとめてみました。

広く市民に呼びかけ寄せられた膨大な写真の中から約六〇〇枚を厳選し、このように新たな趣向を凝らして組んだ『写真アルバム 四日市の昭和』は、読者の皆様にそれぞれの想い出を甦らせてくれるものと思います。

一冊約一万円の高価なアルバム集ですが、市内の各書店で販売されていますので一度、手に取って御覧ください。

フラッシュユ

ひまわり賞に輝いて

全日本おかあさんコーラス全国大会

女声合唱団「京」

8月27日(土)・28日(日)福岡県のアクロス福岡シンフォニーホールで、第34回全日本おかあさんコーラス全国大会(全日本合唱連盟・朝日新聞社主催)が行われました。

私達女声合唱団「京」は中部大会で選ばれ、全国大会に出場することができました。せっかく全国大会に行けるのだから、優秀賞である「ひまわり賞」を目指して、もっと良い演奏をこなしては…と、夏の暑さなか特別練習を組み、動きももう一度チェックして全国大会に向けての練習が始まりました。

幸い「京」には素晴らしい指揮者(竹内宜秀先生)と、指揮者をフォローしみんなをリードしてくださるヴォイストレーナーと、豊かな感性のピアニストがいます。

3度目の出場ですが、いつも全国大会は参加団体の緊張と、喜びと輝きに満ちています。

特に今回のアクロス福岡はキラキラと美しいシャンデリアが10個もある素敵なホールでした。「ここで歌わせてもらえただけで幸せ!」と結果は気にしませんでした。それ

が「女声合唱団『京』ひまわり賞!」と発表されたときの驚きと喜び!客席にいたメンバーからは「キヤー!」という歓声が上がりました。人生最良の日と言ってもらいたいかもしれません。

これも田中俊行市長はじめ四日市市文化協会、三重県合唱連盟、三重県おかあさんコーラス連盟の方々の励ましと応援のおかげがあったからと、深く感謝しております。本当にありがとうございます



(団長 中西 信子)

ひまわり賞

【俳句】

言葉の奥にあるもの

―「菜の花」発行所句会より―

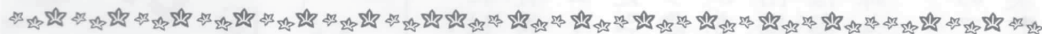
選評・伊藤政美

鴟猛る喪服にひかるものを付け

岡本 千尋

この「ひかるもの」は、多分真珠であろうが、鴟にとつては何でもよいのだ。ただ光ることへ反応するのである。いや、そう感じているのは、作者の心であつて、鴟はそのこととは関係なく、ただ鳴いているだけなのだ。

それを「鴟猛る」という、俳句ずれした言わば手垢のついた言葉を用いたことで、そこに喪服とのつびきならぬ関係が生じたのである。それは、何であるうが「ひかるもの」を身に付けているという死者への負い目なのである。使ひ古された言葉を生かす技、俳句巧者ならではの力である。



展望台へ登りたくなる秋思かな

小津 由美

高い所へ登るのは、ものおもいに沈む心を鼓舞する方法の一つである。が、ここには、秋思の前にすでに「展望台」への思いがあるのが見えてくる。この不可思議な心境が面白い。

それは、秋思を単なるものおもいとして捉えるだけではなく、それをやり過ぎしたり、追い払ってしまうことができる、つまり、心のコントロールができる人なのである。

「展望台」は、ここではすべてが見渡せるということの象徴として存在しているのである。

神の留守大樹を切つて風通す

村田佐和子

大樹、そこには神が宿っているかもしれない。切りたくても簡単には手をつけられない存在なのだ。

しかし、いまは「神の留守」、障りはないだろう。そして、切った後の風がよく通

清水会計事務所

税理士 清水 常雄
税理士 清水 豪

〒510-0095 三重県四日市市元新町3番10号
TEL (059) 351-5286 (代表)
FAX (059) 351-5297
E-mail : shimizu-kaikei@nifty.com

ること。その心地よさ。神も気持よく帰ってこられるに違いない。
大切なのは、自然を畏れる心を忘れてはならないということである。作者が本当に言いたいこともそこにある。

月光の沁み込んでゆく刈田かな

岩佐 四郎

これは、刈田が刈田であることの光景である。

収穫の後の藁の匂い、そして湿った土の匂い。それは、満ち足りたものの匂い、自然を畏れ、闘い、相容れた結果の匂いなのだ。

月光もまたその一員である。月の満ち欠けに教えられ育まれて来た農作業。いま、目の前にあるのは、その結実の光景なのだ。天と地の一体感、「沁み込んでゆく」という言葉の奥にあるものをいまこそ大切にしたいと思う。

いま、日本に、米作りに関わる人以外に、この匂いの本当の意味を考えている人がどれほどいるのだろうか。狩猟民族の真似をして、農耕民族の誇りを捨てようとしてきた国のあり方に対する静かな憤りが、この句の、この光景の奥から見えてくる。



襖絵の暗き三の間昼の虫

伊藤 昭子

三の間だから奥まった部屋。襖絵に、莊厳さと過ぎ去った栄華が見える。「昼の虫」が象徴的である。

噛み合わぬ話いつまで秋風鈴

吉永 絹子

言葉の行き違い、心の行き違い。どうせ結論には至らない。秋の風鈴はかなしい音である。

障子貼り母の気安うしてをりし

吉田きみ子

障子の効用を忘れてはいないか。形ではない。心の宿る場所であることを忘れてはならないのだ。
「気安う」に母の、日本人の心根が見えてくる。

いま将棋 shogi が面白い!

...<http://www.amaren.com/>

強さを数字で表記[当会独自のレーティング方式]でめきめき上達する

... 会員募集中今すぐ入会 3000円/年間

○ 伝統文化の一つ将棋で楽しみたい人[会]のご相談にお答えします。

当会は将棋の分野での地域NPOをめざしています。

事務局 日本アマチュア将棋連盟東海ブロックよっかいち
〒510-0085 四日市市諏訪町 7-17 (四日市市役所北となり)
☎・ファックス 059-354-0625



人との出逢いで 詩が生まれる

詩人 やまぎり萌さん



みずみずしくやさしい言葉を選んで、織りあげるように詩を書くやまぎり萌（本名、山口さよ）さん。みえ県民文化祭や四日市短詩型文学祭などで、数多くの受賞経験があり、大賞の伊藤桂一賞も獲得しています。

数年前、鈴鹿市で「詩のボクシング三重大会」が開催されました。出場して決勝戦まで進み、準チャンピオンになったのです。書くこともアクションも、すべて詩につながっているのでしょうか。やまぎりさんに詩との出会いを、伊倉町のご自宅でうかがいました。

「詩は青春の文学と言われるますが、私は三十代後半から、短詩型の文学の道に入りました。最初、短歌を志しましたが、制約のある定型よりも、詩の自由な表現に惹かれてきました。仲間たちと結成した「夢織り猫の会」で、詩やエッセイをつづった『夢織り通信』を出すことになり、私の生活に文や詩を書くという新しいエリアが増えたのです」とっこり。

やまぎりさんは、車椅子で暮らしています。『夢織り通信』には、詩のほかにも介助する人の体験談や提言が載っていて、いま何が必要なのか問いかけています。介助される人とヘルパーを結ぶしなやかで強い絆に、読みながら感動しました。人と人をつなぐ言葉が、サークルになる楽しいリトル・マガジンです。友達や支援者も、入れかわり立ちかわり登場します。

多くの人に支えられて暮らすやまぎり萌さんは、九年ほど前、三重県と四日市の文芸賞に応募し、両方でも入選したそうです。「とても嬉しかった」と表情がぱっと明るくなりました。

「毎回、応募するようになり、受賞回数も作品も増えてきたので、それらを『月のかけらを手にして』という小さな詩集にまとめました。さらに長年の夢であった自分で撮影した写真と詩を組み合わせた本を、ことし二月に発刊し『たどりついた場所』というタイトルをつけました」。追いかけた夢を次々と実現していくやまぎり萌さん。そのひたむきな視線が、写真にも感じられる待望の詩集です。冒頭、支えてくれた人たちへの、感謝の言葉が記されています。

もともと写真撮影や、デザインするのが好きで、部屋のレイアウトも、自分で考えるそうです。二十四時間介助を受けながら、車椅子で暮らすには、自分流がなによりでしょう。オーガニックなしつらえが、カーテンや棚にもほどこされ、そよ風がまぎれてくるような心地よさです。自分でデザイン設計したという、角を丸くした人にやさしいテーブルを挟んで、お話をうかがいました。

それでは、やまぎり萌ワールドの詩を紹介します。

真夜中のクリエーター

小さな猫を私は頭の中で飼っていた
無数の光を変化させ逃げる大きな猫に

「夢を返して」

と髪を振り乱し土を蹴散らし

叫びながら追いかけていた

途中の公園に猫に似たマリオネットが
赤い糸にからまり斜めにたおれていた

あたしはマリオネットの猫

公園の青いテントで木目のステージに立っている

じぶんがマリオネットだって気づいたのは

あたしの手足に巻きついた透明な糸を

見知らぬ人が操っていたの

天上を仰ぐとその人にも糸がついていたわ

空の中から順々に人が繋がっていたの

いつからかあたしがマリオネット

街から街へ何も知らないふりをして

夢のトランクにしまわれる

あたしはいつた誰のマリオネット

●やまぎり萌さんの受賞歴

平成14年9月29日

第8回 みえ県民文化祭文芸大会 優秀賞

平成14年11月3日

第1回 四日市短詩型文学祭 現代詩の部
市長賞

平成18年11月3日

第5回 四日市短詩型文学祭 伊藤桂一賞

平成21年

第4回 詩のボクシング三重大会
準チャンピオン

平成22年

第5回 詩のボクシング三重大会
準チャンピオン

平成22年

三重県文化新人賞



仲間に囲まれて

レポーター 加藤けいこ (平成23年10月25日)

『四日市の第九演奏会』

『公募の合唱団二〇人がうたう』

日時 12月25日(日) 13時30分開演

会場 四日市市文化会館第一ホール

夢の世界に、遠い日の歌、流浪の民ほか
交響曲第九番(ベートーヴェン作曲)



『セントラル愛知交響楽団』

第二回 四日市定期演奏会『

『ニューイヤークンサート』

出演者 ソプラノ 馬場浩子、テノール

井原義則、合唱団「うたおに」、四日

市吹奏楽団、四日市市立山手中学校吹

奏楽部有志

日時 1月15日(日) 14時開演

会場 四日市市文化会館第一ホール



いずれも前売券は四日市市文化会館にて
好評発売中(〇五九三五四四四〇二)

「花が好きなんです」

押し花インストラクター

加藤 よし子さん



加藤よし子さん

実は私、前々から東海道の道沿いの和菓子屋（東京堂）の店先に惹かれていました。四季折々の見事な花鉢が暖簾に寄り添って、たおやかに客迎えをしています。花はご主人が畑で丹精して、センスの良いレイアウトとお世話は奥様とか。この女主人が加藤よし子さんと知って、うれしい縁を感じながらお話を聞きました。

五十代の初め、お嫁さんの「お義母さん、私も少し手伝いますから、自分の為に何か始められたら」との言葉で押花の道が開かれました。現在はガラスアートの資格も取得。二つの教室を開いていらっしゃいます。文化協会での展

示会（来年の二月、総合芸術展に出品予定）、お仲間（生徒さんは、私のお仲間）との旅行、お孫さんと一緒の日舞の稽古、これらの総てが押し花を通して広がった人との出逢いの賜物との事。

又、去る八月には、藤田弘陶芸展とのコラボで、押し花ガラスアート作品を展覧。作業所『来夢』に押し花のカードを毎月二、三十枚届けるボランティアも続け、とても精力的です。

作品は多種多様で、どれも愛らしく気品にあふれています。



加藤さんの作品

す。一つの作品にいったいどれだけの草花が必要なのでしょう。花を摘む作業から始まって完成するまでの時間は。小さな花びらはと



4人の先生と文化会館での展覧会

でも繊細で、作品に仕上げる時は息が出来ないのでは。よほどの集中力と花をいとおしむ気持ちが必要だと感じています。

「とにかく花が好きなんです」大好きな草花に新たな命を与える押し花アートは天賦なのだ、風に揺れる日日草が教えてくれました。

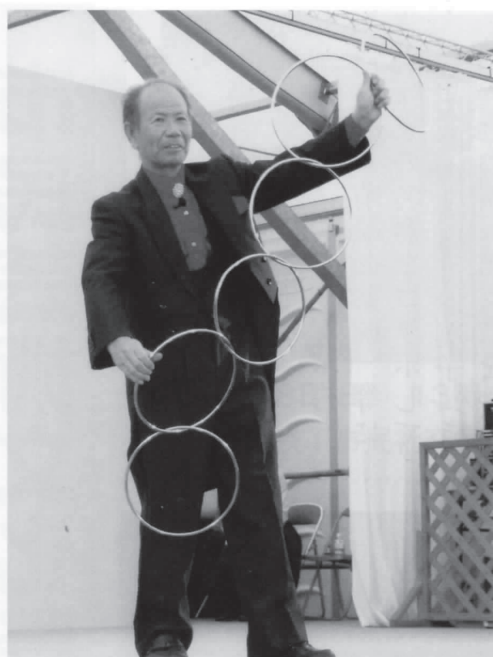
（レポーター 清水暁美）

訪問レポート②

三重奇術愛好会

会長 川田 勝さん

～玄人はだしの
アマチュアマジシャンたち～



川田さんによるマジック披露の様子

アップを図っている。以前所属していた方にはプロになった方も居られるそう
だ。
舞台に出るときは、舞台監督から間の取り方やポーズ

川田さんが4年前から会長を務める三重奇術愛好会は、昭和57年中日文化センターの奇術講座と一緒に受けた仲間4人で発足し、現在19名が所属している。年に一度は三重県内の各地で愛好会の発表を継続しているが、それだけでなく昨年は岡山で開かれた国民文化祭にも出演したり、今年の夏は韓国にも招かれたりした。愛好会の活動は、そのほか月に2回は集まって、お互いの新ネタの披露や講習をして教えあい、時には新しい講師を頼んで会の仲間のレベル

ズの仕方など教わったりして、より効果的な演出を考える。それでも悩みはお客さんを集めることの難しさだとか。

「プロとアマチュアの差はそんなにない」と言われるだけあって、素晴らしい技術を持つている川田さんだが、それでもネタを出し忘れたり、落としたりなどの失敗がある。しかしそれをお客さんに気づかれないようにすることも大事で、特に手品のタネが分かるようなことをすると、他の出演者にも迷惑がかかるのだとおっしゃった。

学童保育の子供達や、デイサービスなどの介護施設でも演じることが多く、年間に25回ほど発表の場がある。介護施設では、介護スタッフの方のほう喜ばれるとか。

自宅の倉庫には手品道具がぎっしりと詰まり、手品用の鳩も二羽飼っておられる。道具も買い集めるし、鳩も育て



会員と一緒にマジックお楽しみ会

なければならぬから「暇とお金がなければやっていけない」ので、若い人が入ってこないのも悩みだそうだ。

インタビューを終わって帰るとき、いくつかのマジックを見せてもらった。私自身マジックは好きでテレビでもよく見るが、すぐ目の前でプロにも見劣りしない奇術を見せてもらったのは、レポーターの役得だったと思っている。

(レポーター 石井 亨)

市民芸術文化祭たけなわ



9月18日(日)・19日(月) 10時～15時
第2ホールロビー 市民茶会

台風が動かず蒸し暑い昼下がりに、久々の立礼席が大好評で来場者が三百人を超えそうな市民茶会にお邪魔した。
剛山作「虫の音の茶杓」
「白薩摩 菊絵の茶碗」等に萬古作家の名器をコラボして…。秋の野の茶席でお菓子(きくや)とお茶(幽玄)をいただきます、しばし暑さを忘れた。



9月19日(月・祝) 14時～第1ホール
ジュニアパフォーマンス
～次世代からのメッセージ～

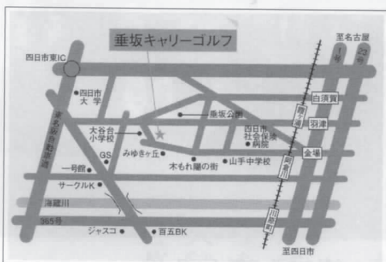
希望 You'll Never Walk Alone と題して鈴木亜樹さんが舞台総監督を務めるジュニア達によるダンスの発表会が行われた。
東北地方の人々と地域は遠く離れていても、心はいつもそばにいますというメッセージを四日市から発信したいという趣旨で子供達の熱の入った素晴らしいダンスが繰り広げられた。



10月10日(月) 17時30分～第1ホール
第8回四日市洋舞フェスティバル

華麗な舞台装置と華やかな衣装を身につけたクラッシックバレエで幕が開くと幻想的な世界を感じさせるモダンダンス、統一された美しさを表現する創作バレエ、一人で空を圧倒するような気迫あふれるダンスが次々に演じられ、最後は大勢の子供達と優れた技術を見せるバレエダンサーの演技で2時間の幕が下りた。

垂坂キャリーゴルフは
フェアウェーへのプロローグを演出します。



◎ 垂坂キャリーゴルフ

三重県四日市市垂坂町337

TEL : 059-332-1614 / FAX : 059-333-9567

市民芸術文化祭たけなわ



9月18日(日) 13時～／第1展示室
2011秋！市民社交舞踏会

以前に使ったことのある会場、少し狭いとの前評判だったが、地区市民センターのダンスサークルや市内のダンス教室に通うファン350余人が和気藹藹に踊っていて、楽しそう。今回からトライアル4部門に市長賞、文化協会賞を贈呈。フィナーレは地元のプロ先生をはじめ、ゲストプロのデモの踊りに魅了。

地元出身の直木賞作家伊藤桂一さんを迎えて、講演と合唱団「うたおに」によるコンサートを催した。スキヤキ、ふるさと、砂山、赤とんぼ…と懐かしい曲の数々。そして伊藤桂一さんの作詞による「水車」「戦旅」を披露、ご来場のみなさんから拍手喝采。



9月19日(月・祝) 13時～／文化会館第3ホール
伊藤桂一オータムセミナー「文学と音楽」



9月19日(月・祝) 10時30分～／第1展示室
第32回市民囲碁将棋大会

盤上の格闘技ともいわれる囲碁と将棋、出場したファン300人余の熱気でムンムンする広い会場は、人がひしめいている。本大会に超初心者から全国大会で活躍する人まで一堂に会して、楽しめるので好評。
それは棋力別に細かくクラス分して、それぞれのクラスで優勝を競い合うことができ

私たちは 四日市市文化協会を応援しています。

この度、四日市市文化協会の活動に参加させていただく事になりました。会員の皆様の発表の場に是非ご利用ください。

ご宴会・各種パーティー・会議でのご利用

着席 20名様～150名様 ・ ビュッフェスタイル 250名様まで




LOISIR HOTEL
YOKKAICHI

ロワジールホテル四日市

四日市市西新地7-3

予約直通 059-352-0301

代表 059-352-0300

平成23年度四日市市文化功労者、四日市市民文化奨励賞 受賞者

四日市市文化功労者

【短歌分野】



小林 英
(こばやし ひで)

- 年齢 87歳
- 住所 四日市市みゆきが丘

●表彰に該当すると認める事項
昭和51年の公民館での文学講座をきっかけとして、35年にわたって公民館を中心とした短歌指導を続けてこられました。また、全国的な短歌結社「国民文学」で入賞を重ね、高い評価を得るとともに、平成6年から現在に至るまで「国民文学」三重県支部長を務められているなど、地域における短歌の普及に尽力されました。

【陶芸分野】



清水 洋
(しみず ひろし)
(陶芸家名 清水酔月)

- 年齢 67歳
- 住所 四日市市南いかるが町

●表彰に該当すると認める事項
日本伝統工芸展をはじめとして全国的な工芸展等で数多く入選されるほか、海外へも出品し、高い評価を得ています。また、小中学校での陶芸指導などを通じて、四日市の伝統文化である萬古焼の普及に努められました。昭和58年には四日市萬古焼伝統工芸士会の初代会長として萬古焼の高い技術・技法の継承・発展に努力され、本市の文化振興に多大な貢献をされました。

【日本舞踊分野】



水野 壽美
(みずの すみ)
(芸名 西川里寿)

- 年齢 72歳
- 住所 四日市市東富田町

●表彰に該当すると認める事項
西川流の師範として昭和44年に「里寿会」を結成し、多年にわたって後進の育成に尽力されるとともに、昭和50年には富田音頭の振り付けにより、その再興・普及に努められました。また、幼稚園での指導など、子どもたちが日本の伝統文化に触れる活動を精力的に続けられ、本市における日本舞踊の普及・発展に大きく貢献されました。

四日市市民文化奨励賞

【バレエ分野】



石井 亨
(いしい とおる)

- 年齢 51歳
- 住所 四日市市堀木

●表彰に該当すると認める事項
バレエスクールを主宰され、後進の育成に尽力しておられます。平成6年には国民文化祭への出演・振り付けなどで活躍されました。平成11年からは市民オペラのバレエ振り付け・指導に関わるなど、公的事業へも積極的に協力されており、今後の活躍がますます期待されます。

【まちづくり分野】



村田 三郎
(むらた さぶろう)

- 年齢 66歳
- 住所 四日市市大字泊村

●表彰に該当すると認める事項
平成17年から四日市観光ボランティアガイドを務め、四日市の歴史・文化的資産の情報発信を積極的に行われています。今後、本市の地域文化の発信および観光振興への貢献が期待されます。

(四日市市発表資料より)

【編集室】

東日本震災以降、機会あるごとに故郷に帰る人が増えたと聞く。文部省唱歌「ふるさと」をいろいろな場所で聴くことが多くなった。故郷は遠くにありて思うものゝというが、いつまでもそこにあるものが実はとても脆くはないものである事を私たちは改めて思い知らされた。伝統文化もまたしかりである。守っていく人、育てていく人、愛でる人、人なくしては存在しないのである。

(真)

パッション第四十六号

- 発行 平成23年11月15日
- 発行人 西村 邦彦
- 編集 文化協会広報部
- 石井 亨・石塚眞木
- 加藤恵子・加藤 武
- 清水暁美・中西まさ子
- 西川保歳・山口恵子
- (オプザーバー)
- 石松 延・九鬼多賀子
- 発行所
- 〒五一〇一〇〇五七
- 四日市市昌栄町二一一〇
- TEL・FAX
- 〇五九(三五二)三七二九

小窓の演出から、
増改築まで

総合インテリア

株式会社 片岡
四日市市日永東 3丁目-8-22
TEL (059)-346-7933(代)
FAX (059)-346-7913
E-mail: K-Kataoka@mx.baycity.ne.jp

共に創る。共に生きる。



Daiwa House®
大和ハウスグループ

大和ハウス工業株式会社

四日市支店

四日市市ときわ1丁目7-14 〒510-0834
TEL 059-351-1366 FAX 059-353-2939

四日市市文化協会様御用達 パネル用“紙看板”
フルカラーインクジェット大判プリント

900x1800mm **6,000円**~ 耐久クロス地、ターポリン地 取扱い
☎ (059)353-3885

株式
会社

紺文旗店

<http://www.konbun.com>
E-Mail info@konbun.com

〒510-0075 四日市市安島2-4-14

TEL 059-353-3885 FAX 059-353-2417

水九印刷にお任せください!

水九印刷が解決します!!

まだ間に合

この印刷物は
どこの業社?

ホームページの
修正はどこの業社?

名刺のロゴと
ホームページの
ロゴが違う!

発送は
どうしよう?

できる?

こうしたい

コスト 手間

時間が省けて
手配スムーズ

ひとつにまとめて
コストダウン!
情報も守れます。

デザインを統一して
ブランディング

印刷

- ・名刺・封筒・伝票
- ・カタログ・ポスター・チラシ etc.



コスモ石油販売柳名古屋カンパニー様 チラシ



新星食品様 掛紙



四日市自動車学校様 チラシ

WEB

- ・Webサイト制作
- ・ホスティング・CMS etc.



四日市商工会議所様



新星食品様

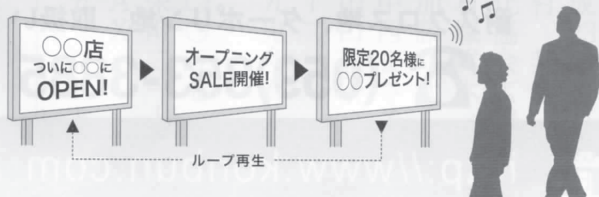


四日市自動車学校様

デジタルサイネージ

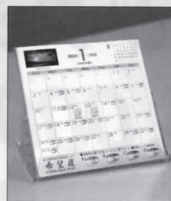
デジタルサイネージとは?

スクロールする静止画、動画、フラッシュアニメーションによる告知・宣伝が出来ます。画面に変化を与えることで今までのポスターに比べ視認効果が格段に向上します。



ノベルティ・看板

- ・オリジナルアイテム
- ・大判カラープリンター出力 etc.



希望荘様 CD型卓上カレンダー



桑名信用金庫様 看板



水九印刷 Tシャツ

ご注文
お問合せは



水九印刷株式会社

TEL.059-332-6600 FAX.059-332-6688

〒510-0013 三重県四日市市富士町1-147 URL <http://www.mizuku.co.jp> E-mail admin@mizuku.co.jp